

2026年7月6日
楽待株式会社

8月11日に福井県坂井市で開催される 「第44回 三国花火」に協賛決定

日本海を舞台に水中花火が彩る北陸有数の花火大会

本リリースのポイント

- ・2026年8月11日（火・祝）に福井県坂井市で開催される「第44回 三国花火」に協賛
- ・日本海に面した三国サンセットビーチを舞台に毎年夏に開催される花火大会で、水面から美しい半円を映し出す「水中花火」が名物として親しまれている
- ・地域の発展に向けた花火大会の支援は2023年から実施しており、本協賛で8度目



坂井市役所 産業政策部観光交流課から画像提供

国内最大の不動産投資プラットフォーム「楽待」 (<https://www.rakumachi.jp/>) を運営する楽待株式会社（本社：東京都中央区、東証スタンダード、証券コード：6037）は、2026年8月11日（火・祝）に福井県坂井市で開催される「第44回 三国花火」への協賛を決定しました。「三国花火」は日本海に面した三国サンセットビーチを舞台に北陸の夏を彩る花火大会として親しまれており、今年で44回目を迎えます。

「三国花火」について

「三国花火」は福井県坂井市の三国サンセットビーチ・九頭竜川ボートパークを会場に、毎年夏に開催される花火大会です。大迫力の二尺玉をはじめ、水中花火や音楽スターマインなど、夏の風物詩として毎年多くの皆様に親しまれています。「水中花火」は、火のついた花火の玉を海に投げ入れる難易度の高い花火で、水面から映し出される美しい半円は必見です。

協賛の背景

当社が運営する不動産投資プラットフォーム「楽待」には、47都道府県の物件情報が掲載され、日頃より全国の不動産会社様とお取引をしております。地域の皆様に支えられて事業を展開している企業として、地域の発展に寄与することは社会的責務の一つであると考えています。

多くの方々に愛される「花火大会」は、地域の観光振興やコミュニティの結束を生む大切な文化です。一方で、協賛企業の減少や運営費の高騰などを背景に開催が難しくなっているケースも報じられています。

そこで当社では、地域文化の継承と発展に貢献したいと思い、2023年から各地の花火大会を継続的に支援しています。これまで熊本県「やつしろ全国花火競技大会」、神奈川県「よこすか開国花火大会」、宮崎県「みやざき納涼花火大会」、徳島県「にし阿波の花火」、青森県「古都ひろさき花火の集い」、埼玉県「戸田橋花火大会」、高知県「高知市納涼花火大会」への協賛を実施してまいりました。

「第44回 三国花火」開催概要

日時 : 2026年8月11日（火・祝）19:30~20:30

※荒天時は2026年8月12日（水）に順延予定

会場 : 福井県坂井市 三国サンセットビーチ・九頭竜川ボートパーク

観覧 : 有料席あり（詳細は公式サイト参照）

主催 : 三国花火実行委員会

大会公式サイト : <https://mikuni-hanabi.jp/>

不動産投資の「楽待」概要

2006年3月に開設した「楽待」は、月間168万人が訪れる、使いやすさ・利用者数・掲載物件数No.1(*1)の不動産投資プラットフォームです。全国5600社の不動産会社が毎日物件情報を登録しており、ユーザーは自身の希望条件で絞り込んで、目当ての物件を探すことができます。

また、不動産投資専門メディア「楽待新聞」を通じ、業界のニュースや不動産投資の成功談・失敗談などを発信。YouTube「楽待 RAKUMACHI」はチャンネル登録者数161万人、総再生回数は11億回にのぼります。（2026年6月時点）

2022年6月には有料会員サービス「楽待プレミアム」を開始。登録することで、業界初(*2)の独自機能「賃貸経営マップ」やプレミアム会員限定動画が見放題になります。

「公正な不動産投資市場を創造する」というビジョンのもと、不動産投資家・加盟不動産会社の双方にとって使いやすい機能やサービスの提供に努めてまいります。

【会社概要】

社名：楽待株式会社

URL：<https://rakumachi.co.jp/>

上場市場：東証スタンダード（証券コード：6037）

本社：東京都中央区八丁堀三丁目3番5号 住友不動産八丁堀ビル5階

設立：2005年8月23日

事業内容：国内最大の不動産投資プラットフォーム「楽待」の運営

楽待

【本件の問い合わせ】

楽待株式会社 広報担当 尾藤

携帯電話：080-4129-5743

固定電話：03-6833-9438

E-mail：rakumachi@rakumachi.co.jp

*1 『物件数 No.1』：日本マーケティングリサーチ機構調べ（2025年8月）

『使いやすさ No.1』：ゴメス・コンサルティング調べ（2025年8月）

『利用者数 No.1』：自社調べ（2025年8月）

*2 自社調べ（2023年4月）

